

大和西高校における韓国語学習について

韓国語担当 姜 貞福

副 校 長 平沼 宏仁

本校では平成 20 年度より 2 年次必修選択科目において韓国語授業「ハングル入門」(2 単位)を導入しました。それ以前は総合学習で韓国語講座を開講しており、多くの生徒が韓国語学習に取り組み、言葉だけではなく、韓国の文化・風習なども学習しました。

実際に学んだ韓国語を使用するために、8 月には新宿の職安通りを訪れ、食事の注文やショッピングを韓国語で実践する夏期講習プログラムも用意されています。



平成 20 年 12 月には、神奈川県が姉妹都市提携を結んでいる韓国京畿道にある光文高等学校と姉妹校協定書を締結し、正式に交流がスタートしました。相互交流を基本とし、ホームステイ、授業参加、相互の国の文化に関するプレゼンテーションなどを行います。



10年目の節目である平成29年度の訪問には本校学校長も参加し、親睦を深めました。ここ数年の交流の詳細については国際理解教育の姉妹校交流のページをご覧ください。



平成29年度の「ハングル入門」選択生徒数は21名で、ハングル文字の読み書きや発音練習、基本的な挨拶や様々な状況に必要な韓国語表現を勉強しています。授業はチーム・ティーチング（韓国人と日本人）で行われており、ネイティブの先生の本格的な発音指導と日本人教諭による日本語でのきめ細かい指導を受けることができます。ハングル検定試験合格や姉妹校交流で韓国人生徒と意思疎通が図れることなどを目標に学習に取り組んでいます。

また、韓国京畿道パジュ市のハンビッ高校と SKYPE を用いた交流を定期的に行い、リアルタイムで意見交換を行う機会もあります。さらに、姉妹校である韓国光文高校の生徒とは定期的に手紙の交換も行っています。

